

令和7年度 第1回理事会 議事録

日時：令和7年5月24日（土）午後7時00分～

場所：こまき市民活動ネットワーク事務局およびオンライン

出席者：理事10名中、出席5名、委任状4名

議事録署名人：安江理事、伊藤理事

1. 開会の言葉

伊藤理事より開会の言葉が述べられた。

2. あいさつ

関代表理事より挨拶があった。

3. 議長選出

林副代表理事が議長に選出された。

4. 議事録署名人の選任

安江理事、伊藤理事の2名が議事録署名人に選任された。

5. 審議事項

第1号議案：令和6年度 事業報告について

- ・事業報告の内容について了承された。
- ・総会資料に関する指摘があり、以下の通り対応することとなった。
 - ・P6「ボランティアLINE」：令和6年度の登録者数がわかるよう表記を追加する。
 - ・P12「こまき子ども未来大学」：申込数と参加人数の差が大きいため、講座定員数を明記するとの意見があったが、他事業に定員表記がないため、総会では口頭にて説明を行うこととした（伊藤理事にも確認済）。

6. 報告事項

なし

7. 依頼・要望事項

(1)理事会のあり方・運営に関する意見

- ・年間を通した事業の全体像がわからない。
- ・理事としての関わり方が不明瞭である。
- ・事業計画・予算に沿って事務局が事業を実施する中で、理事会は中長期事業計画の策定にあたる場との認識であったが見直しが必要。
- ・事業実施のタイミングと理事会のタイミングが合わず、事務局が混乱することがよくある。事業に対する理事会からの意見で変更できない点は次年度の参考とする。
- ・毎月理事会を開催する場合、出席率に課題があり理事への負担が懸念される。

- ・理事会の協議・審議事項の年間スケジュールを作成すること。
- ・6月上旬に理事会を開催し、理事会の開催方法等について意見を集約することとした。

(2)共有・進捗管理について

- ・行政への事業報告のタイミングで理事へ情報共有を行う方法を検討すること。
- ・理事会用書類の作成負担を軽減するため、ネットワークの年間事業一覧を作成し、理事会ごとに進捗状況を共有する提案。

(3)事業報告・予算管理に関する意見

- ・事業報告においては人件費を除いた事業費が明示されるようにすること。
- ・ワクティブこまきについては支出超過があっても他事業からの流用が可能であるため、予算内で事業を実施している。
- ・事業担当者は事業費に関して予算額を把握しながら超過しないように事業を実施しているが、細かい数値まで把握していない。経費は経理が一括管理しており、依頼がなければ共有していない。クラウド会計導入後は状況把握が可能になる。

(4)会計処理に関する懸念

- ・令和6年度予算でマイナス190万円と見込んでいたものが、決算でプラス130万円と大きな乖離があった。
- ・理事会として会計業務に対する不信感があるとの意見。
 - 税理士と経理担当者から毎月報告を受けているが、予測を立てにくい状態が続いている。今後はクラウド会計へ移行し、予算・決算の見通しを可視化する方針。現在の税理士には理解を得ており、必要に応じて交代も可能。freeeに詳しい税理士（春日井市在住）への引継ぎを次回理事会で報告予定。

(5) 理事構成について

- ・小牧青年会議所関係理事（小森理事）からの交代について、当初宮原氏に依頼していたが、定款上、理事の選任は総会での承認が必要であることが判明。
 - 今年度も小森理事が継続する形となった（関代表理事より宮原氏に謝罪する）

(6) その他

・ 中小企業家同友会小牧支部への加入提案あり。 →現状の人手不足により新たな加入は困難との回答。

8. 閉会の言葉

伊藤理事より、閉会の言葉が述べられた。

以上